

第2章 現代の経済

2 現代経済のしくみ

1 経済主体と経済の循環（教科書 P. 120～121）

▶1. 経済主体 [p. 120]

収入と支出の経済活動を行う担い手

… [], 企業, 政府, 最近は NPO や NGO も

(1) 家計：所得（賃金, 利子, 配当など）を得て, [] を行う

- ・所得の増加→消費増加
- ・株価, 資産の増加… [] →消費増加
- ・バブル経済期：資産効果→消費が大幅に増大
- ・バブル崩壊後：逆資産効果→消費が減退

[]（所得－消費支出）→預貯金, 証券類（株式, 国債など）購入, 生命保険支払い

(2) 企業：労働者, 機械設備を用いて財・サービスを生産・販売して [] を獲得

利潤の最大化が主たる目的

(3) 政府：税金などで収入を得て行政サービスなどに支出

ほかに

・ []（道路, 消防など）の供給
・ 所得格差の是正
・ 景気安定化

 などの活動を行う

▶2. 経済活動の循環 [p. 121]

(1) 経済活動の循環：企業の生産活動は毎年, 持続的に繰り返される

(2) 経済主体間の循環

・家計と企業：労働力・資金・土地 ↔ 賃金・地代・利子

生産物 ↔ 代金

・企業と政府：租税（法人税など） ↔ []

公共事業の資材 ↔ 代金

・家計と政府：租税（所得税など） ↔ []

労働力 ↔ 公務員給与

(3) 経済の循環

経済主体間の循環（三つの主体双方向の売買）を通じた経済活動の循環
（生産→〔 〕→消費→生産→……）が持続的に行われている